

J-スリットえん堤

土石流・流木災害から、安全・安心な生活を守り、災害に強い国づくりに貢献します。

JFE 建材 株式会社

<http://www.jfe-kenzai.co.jp/product/antidisaster/j-gata.html>
一般検索サイトで「JFE J-スリットえん堤」と入力してください。



平成19年3月に改定された土石流・流木対策設計技術指針により、透過型えん堤はますますその重要性を増しています。J-スリットえん堤は、既存のL型スリットえん堤及びI型スリットえん堤で培った経験より得られた数々の特長を有しており、そのニーズに応えます。(建設技術審査証明 技審証第0601号)



特長

① 安全・安心な構造

土石流の流体力、礫の衝突に対してはもとより、中小洪水時や、越流落下する礫の衝突に対しても安全な構造としています。

② 土石流の確実な捕捉

水理模型実験で土石流・流木捕捉機能を確認しています。また、平成19年3月に改定された土石流・流木対策設計技術指針で示された柱・梁間隔に対応しています。

③ 河道の連続性確保

底板コンクリートを河床勾配に合わせることで、河道の連続性が確保でき、生態系に配慮した設計が可能です。

施工地：秋田県 鋼製高さ H = 4.0m 水通し幅 B = 10.0m



下流側より望む

施工例

施工地：富山県
鋼製高さ H = 3.0m 水通し幅 B = 9.0m



下流側より望む



上流側より望む

施工地：兵庫県
鋼製高さ H = 6.5m 水通し幅 B = 7.0m



下流側より望む



上流側より望む

施工地：兵庫県
鋼製高さ H = 6.0m 水通し幅 B = 5.0m



上流側より望む



上流側より望む